

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
959	教育振興事業		01	一般会計	
			10	教育費	
31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める		01	教育総務費	
			03	義務教育振興費	
		教育部 学校教育課	102	児童生徒指導経費	
			01	教育振興一般経費	
担当部課名			細目		
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676	細々目	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	市内小中学校児童生徒	児童生徒の安全がより確保されると同時に地域においても子どもの安全を守るという意識が向上することで、交通事故発生件数が減少し、不審者からの被害がなくなります。また、障害児学級や複式学級の指導が複数になります。さらに、外国人児童生徒の日本語指導支援ができます。				
本年事業内容	1. 障害児学級介助員等の配置 2. 複式学級解消補助員の配置 3. 外国人児童生徒日本語指導補助員の配置 4. 中学生自転車通学者に対するヘルメット配布 5. 登下校安全サポート業務					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.6	2.25	2.25
人件費合計(A)	4,320	16,200	16,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	76,604	90,664	90,760
委託料	9,497	10,626	10,353
報酬	15,406	16,980	17,405
賞金	44,013	54,766	55,002
その他	7,688	8,292	8,000
合計(A+B)	80,924	106,864	106,960
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財		1	1
一般財源	80,924	106,863	106,959
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
介助員配置数	人	22	26	30			
登下校安全サポート配置校数	校	12	12	12			
外国人日本語指導補助員配置数	人	5	5	5			
複式解消補助員配置数	人	3	3	3			
自転車通学生徒配布率	%	100	100	100			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
事案発生件数及び交通事故発生件数	児童生徒に対する不審者・声かけ等の事案や登下校時や放課後の交通事故が発生した件数を指標としました。	件	50 目標 (0)	0	0
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

障害児学級への介助員配置や複式学級解消補助員配置により、個々の児童生徒に対してきめ細かな指導ができるため、該当校の教育活動がより充実したものとなるので、継続して配置していく必要があります。また、登下校時の安全確保については、12中学校区において、登下校安全サポーターによる通学路を中心とした見守りを実施しています。不審者による声かけ事案が皆無ではありませぬので、今後も不十分な点を確認しながら、全ての児童生徒の安心安全を保障していく必要があります。

評価	必要性	4	学校教育支援のための人的配置をしていますが、個々の要望等には十分応えきれていないのが現状です。まず、障害児学級児童生徒の支援については、障害児学級児童生徒が複数在籍する場合は、配置を継続したいと思います。また、小規模校で複式学級を実施している学校においては、できるだけ複式を解消するよう補助員を配置したいと思います。さらに、外国人児童生徒が多数在籍する学校においては、日本語や日本の文化、慣習に少しでも早く慣れるように指導補助員を配置したいと思います。	総合評価 B
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	2		